

# コロナ禍での学生生活： 私の場合

あかつき  
読み上げ:四国めたん

# プロフィール

- 名前：あかつき
- 学年：大学院1年
- 障害：場面緘黙
- スマホや筆談での会話、発表の事前告知、他の学生への説明などの配慮



# 場面緘黙とは？

- 確立された会話能力があるにも関わらず、特定の社会的状況下では話すことが一貫して困難になる症状
- 人見知りやわざと話さないのではない
- 発話だけでなく身体の動作も困難になる「緘動」がある場合も
- 原因などのメカニズムはよくわかっていないが、不安症や恐怖症の一種と捉えられている

参考：専門家に聞く、場面緘黙(かんもく)について知っておきたいこと

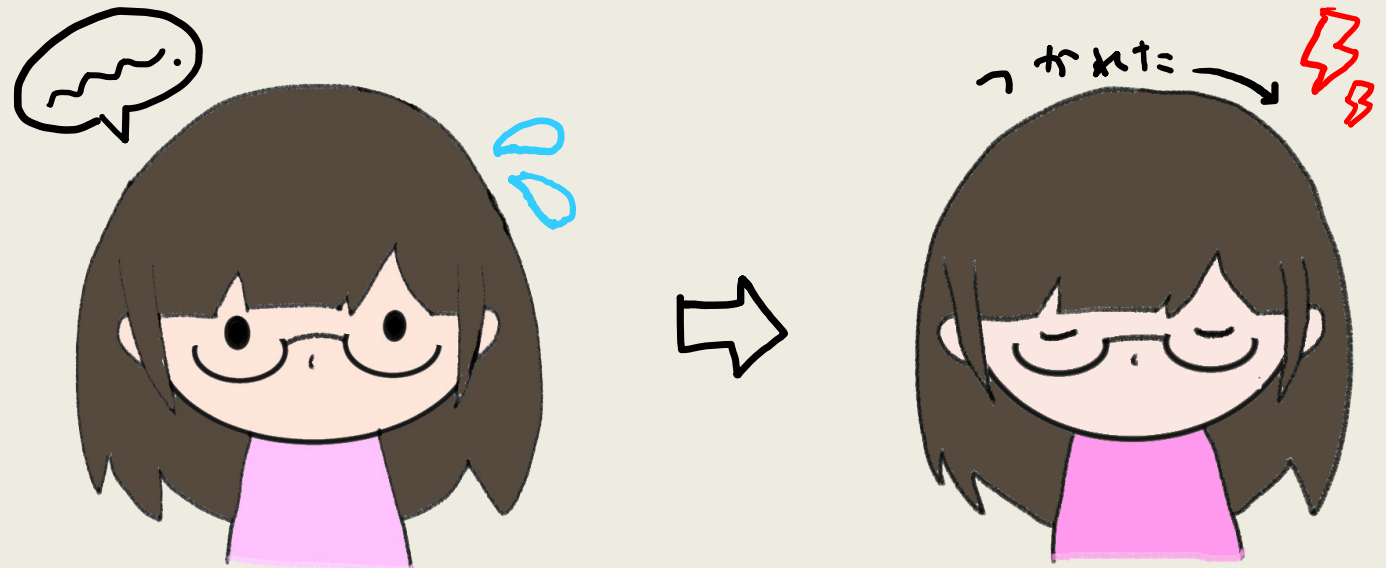
<https://www.nhk.or.jp/heart-net/article/105/>

場面緘黙(ばめんかんもく)とは 一言の葉の会

<https://www.kotonoha-sm.org/mutism/>

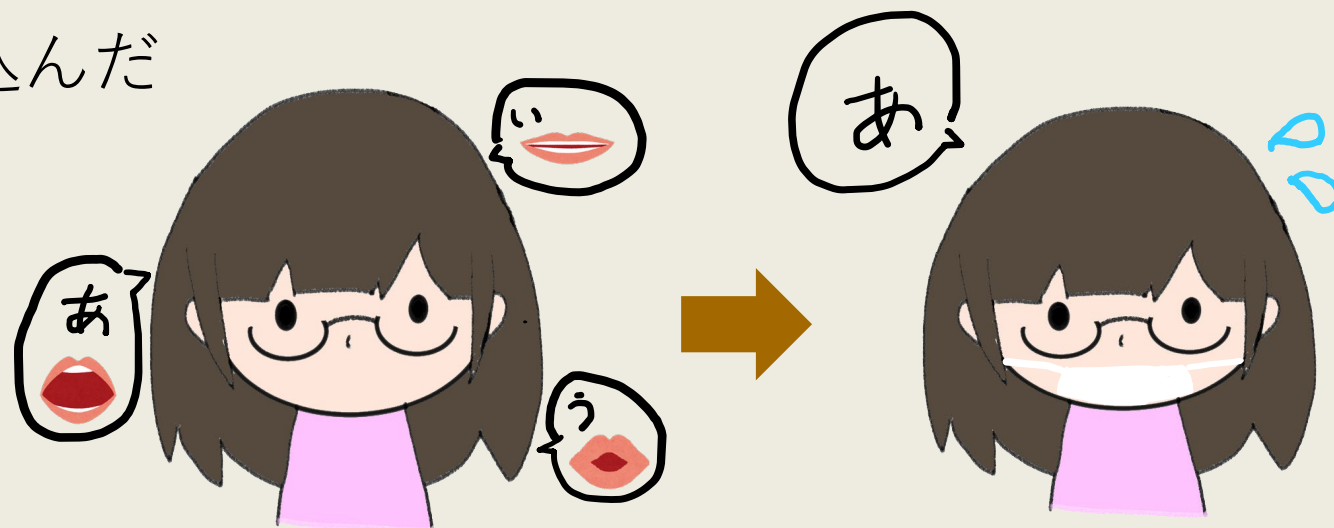
# 私の場合

- 話せる場とそうでない場の差が大きい
- カミングアウトすると余計に話しにくくなることが多い
- 話すことにすごくエネルギーを使う



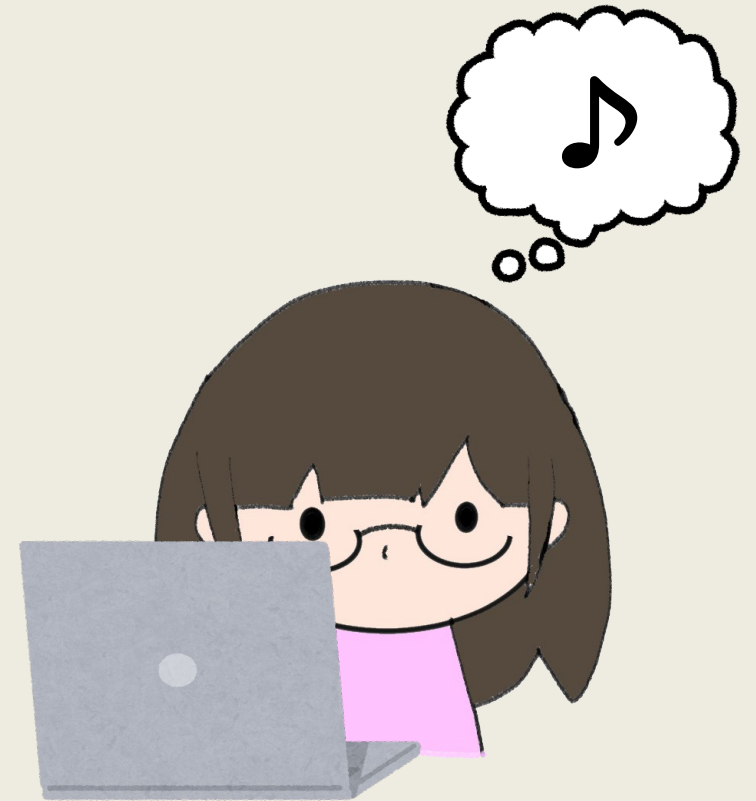
# コロナ禍での生活

- 声を出す機会が減った  
楽な反面、久しぶりに声を出すと緊張する
- マスクをしているので、大きめの声で話さないといけない
- 電話をする機会が増えた  
代理電話サービスを申し込んだ



# オンライン授業：メリット

- ほとんどオンデマンド  
話す機会がないので楽
- 話し合いがある授業はリアルタイム  
対面と比べて文字でのチャットがスムーズ  
1回だけなら頑張ろうと思える



# オンライン授業：デメリット

- 受講生全員が見られる掲示板に書きこみをするのが苦痛
- 対面と違い、友人の助けが受けられない



# オンラインで必要なサポート

- 「文字チャットだから大丈夫」とは思わないでほしい  
コミュニケーション全般に不安を抱えている場合もある
- 「チャットも活用してください」のようなアナウンスがあると  
安心してチャットを使える



ご清聴ありがとうございました